



# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

## (地域活動部門)

平成 28 年 1 月 12 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒラジ マケンコウフクシイカイ  
団体名 平島健康福祉委員会  
所在地 [Redacted]  
連絡先 [Redacted]  
フリガナ カサキ ヨシヒデ  
代表者氏名 柿崎 由秀

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決    イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施区域(小学校区)	平島学区
事業実施回数	新規・継続    回目 ( 28 年度から)
課題	平島学区において今後さらに進むであろう少子高齢化の中で、高齢者の健康と自立した生活を地域で支え合う仕組みを、自助・互助の考え方を理念に、できるだけ早いうちに作っておく必要がある このことは6年前に設立された平島小地域ケア会議において、長い間検討協議を重ねてきた結果、課題解決の一つとして平成28年度より導入するものである
事業の目的・目標	平島学区に住む高齢者の生活を支援することや集う場づくりなどで、一人でも多くの方が“元気で輝き”ながら、地域とつながって社会参加や活動が出来る環境をつくることを目標としている

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅訪問による生活支援サービスの提供：既成の制度ではまかなえないようなちよつとした生活援助を平島健康福祉ボランティアが有償ボランティア方式（100円チケット券1枚で約15分間）によりサービスを提供するシステム</li> <li>・井戸端カフェの開設：試験的に学区の中心部の2ヶ所（東平島、南古都）に開設し、毎月第2土曜日の10時から12時の間オープン予定、お茶代100円の料金でだれでも気軽に立ち寄ることができる</li> <li>・平島健康福祉研修会の開催：6月、9月、12月、3月の年4回平島コミュニティハウスで開催</li> <li>・平島健康福祉ニュースの定期発刊：4月、7月、10月、1月の年4回、全世帯に配布</li> </ul>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の推進により支え合いの街づくりが出来れば、地域に住む子供から老人まで将来にわたっても安心して住める地域だと実感して住み続けてもらうことができる</li> <li>また、コミュニティの促進と介護予防が図られることで、健康寿命を延ばすことができ結果として高齢者の皆さんが地域とつながりながら社会参加と活動が継続できる</li> <li>・時間はかかるかも知れないが、自助・互助・共助の理念が浸透することで、地域住民のつながりをさらに深めていくことができる</li> </ul>
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉研修会の開催については、平島コミュニティだけの開催ではなく、単一町内会の公会堂へも出前研修を実施することで、学区全体の一人でも多くの方に参加してもらうようにする</li> <li>・平島小地域ケア会議を通して、平島学区連合町内会及び平島学区安全安心ネットワークと蜜に連携をとりながら、地域住民の意見を広く吸い上げ、常に課題解決のための方法を模索しながら具体的行動に移していく</li> <li>・瀬戸上道学区へも情報を発信し、可能ならば情報交換の場を設けながら、本活動が良い意味でたたき台になって広がっていくようチャレンジしたいと考えている</li> </ul>
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のひろばの区民のページ欄への掲載を申請予定</li> <li>・ESD市民活動推進センターへの情報提供</li> <li>・定期的に平島健康福祉ニュースの発刊により学区内全世帯へ情報を共有化する</li> </ul> <p>※今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、将来的にはインターネット上でホームページを開設し情報を公開をしていきたい</p>
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスを地域の人たちにしっかり理解していただき末永く利用してもらうための啓蒙活動を継続</li> <li>・生活支援サービスの提供を行う支援ボランティア要員の拡大と育成</li> <li>・試験的に開設した井戸端カフェの再評価を行い、必要であれば開設日や時間を増やすことも検討</li> <li>・平島健康福祉ニュースの掲載内容の再検討</li> <li>・健康福祉研修会及び小地域ケア会議は今まで通り継続開催</li> </ul>

その他PRしたい点

本活動が近隣地域でのモデルケースとしてたたき台になることを願い、一步一步進めていきたいと考えておりますので、市としても暖かく見守って頂き可能な限りご支援ご指導をお願いいたします

## 事業スケジュール

月日	活動内容
4月12日	企画会議、第32回平島小地域ケア会議、第1回平島健康福祉ニュース発刊
5月10日	企画会議、安全安心ネットワーク祭支援
6月14日	企画会議、第14回平島健康福祉研修会
7月12日	企画会議、第33回平島小地域ケア会議、第2回平島健康福祉ニュース発刊
8月9日	企画会議、第7回平島振興まつり支援
9月13日	企画会議、第15回平島健康福祉研修会、平島学区敬老会支援
10月11日	企画会議、第34回平島小地域ケア会議、第3回平島健康福祉ニュース発刊
11月8日	企画会議
12月13日	企画会議、第16回平島健康福祉研修会
1月10日	企画会議、第35回平島小地域ケア会議、第4回平島健康福祉ニュース発刊
2月14日	企画会議
3月13日	企画会議及び反省会、監査、第17回平島健康福祉研修会

# 収 支 予 算 書

## ◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	0	210000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0	7000	支援員の年会費
参加者負担金	0	15500	サービスチケット代など
協賛金	0	20000	平島振興事業推進協議 会
寄付、他収入	0	10000	健康福祉ニュース広告 協賛
計		262500	/

## ◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	0	20000	健康ニュース(4回) ポスター、研修会資料など
通信運搬費	0	163300	電話利用料金、健康ニュー ースの郵送代
謝礼金	0	12000	研修会講師(4回)
食料費	0	8600	研修会(4回)井戸端カフ ェ(20回)水分補給用
会場使用料	0	9600	平島コミュニティ(4回分) 井戸端カフェ(20回分)
消耗品費	0	24000	支援員のユニフォーム代(14 名分)
保険料	0	15000	支援員ボランティア保険
その他事務費	0	10000	印鑑、身分証明証、チケ ット券製作費
予備費	0	0	
計		262500	/

# 収 支 予 算 書

## ◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	0	210000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0	7000	支援員の年会費
参加者負担金	0	15500	サービスチケット代など
協賛金	0	20000	平島振興事業推進協議 会
寄付、他収入	0	10000	健康福祉ニュース広告 協賛
計		262500	

## ◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	0	20000	健康ニュース(4回) ポスター、研修会資料など
通信運搬費	0	163300	電話利用料金、健康ニ ューズの郵送代
謝礼金	0	12000	研修会講師(4回)
食料費	0	8600	研修会(4回)井戸端カフ ェ(20回)水分補給用
会場使用料	0	9600	平島コミュニティ(4回分) 井戸端カフェ(20回分)
消耗品費	0	24000	支援員のユニフォーム代(14 名分)
保険料	0	15000	支援員ボランティア保険
その他事務費	0	10000	印鑑、身分証明証、チケ ット券製作費
予備費	0	0	
計		262500	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	㊦望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

新規事業のための会としての手持ち金がほとんどないため

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成28年1月13日